



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は「リトルボーイ」の事におどろきました。写真とか絵を見る前はちっちゃそう、思っていたけど資料を見るとすごく大きくてびっくりしました。重さが4tもあったら落されたら命とたまりもないと思いました。火の中心が100万℃って人がふれなくてもけちゃう温度じゃん？って思いこわくなりました。でも、京都を除外したのがすごいと思います。私がアメリカ軍だったら気にせず投下するのでお話を聞いた時優しいなと思ってました。投下都市の条件で②の平野であることで私のイメージは木とかが沢山あってデコボコしている所が良いのかな？、お話を聞く前までは思っていたけどお話を聞いたら真逆でそうなんだ〜。意外〜って考えました。私がその時に生まれていたら絶対こわいのにあきらめかいているのが尊敬しました。機会があれば原爆ドームに行ってみて真近で見たいです。ひいおじいちゃんもこわかったって言うたので戦争はもうやりたくないです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/16

今日の特別授業では、原爆の被害、原爆によ、
て大きく変わった生活、原爆の仕組みを語、
ださ、ありがとうございます。真剣に説明して、
ただたおかげで、原爆について深く知ることが出来
ました。原爆が落され、激しい衝撃波、熱風、
放射線によって、生々しい死体や重傷者、さら
にはうず巻くうめき声、建物は倒れかいてガシキ
の山だけになり、そこで数万人、数十百万の人が亡
くなったと思うと、何か償い切れぬことをしま、
たかのような罪悪感に包まれ、もう一回、一回
だけでも人類の文明を消してしま、う。そんなことが
身の周りに起きるのだとしたら、自分の命が無くな
るのと同々。これだけで済んで良か、たと逆に思
います。高温を出し、人々を焼きな、おかつ、その後は
人を住めなくする。もし生き延びたとしても、それが
必ず幸せへの希望とは限らない。原爆先生の
ように当時のことを伝えてくれる人がい、な、たら、
自分はこのような考えに至、ず、に、そのままにな、て、
いた、と思、います。最後に、原爆について、このような特別

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

授業といった形で教えてくださ、り、ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/16

きょうなどがきっかけで戦争が始ま
てしまうなら、世界中で助け合いをするべ
きだと思いました。ぼくはこの授業を聞い
て、戦争をしたり原子爆弾を落としても、
悲しみしか生まれないと感じるようにな
りました。また、戦争をしても何も意味がない
とも思いました。ぼくは原爆先生の授業を
受講して、本当にあったお話しが良かったと思
いました。なぜなら義三さん達は兵隊なのに、
被爆者の人達を助けていたからです。
もし、けんかやいじめが起きたら、義三さん
達のように勇気をもって、対処したいと思
いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

広島原爆は、先に爆発してから音が鳴ったと
が分かりました。また、爆発したら一瞬間で物が気体
になり人間の水分がなくなってしまうことを初めて知りまし
た。原爆の候補になった都市の中から天候に合わせて
決めていました。条件に空襲がなかったとあり、たしかに
空襲があつたらそれに備えてるだろうと思つてなかつた
ところにしたと思ひました。この原爆で日本国憲法に
戦争放棄があると思ひました。放射線をあてた
人は原爆症になつてしまふことが分かりました。
人は、へいたいを呼んでいるけど兵隊さんは24万人も
の人を守れないから大変だつたと思ひます。朝
の8時15分にいきなり大きな音がしてびっくりし
たと思ひます。この原爆は、太陽より熱いから、やけ
どをしたらはたにふれたくないから、手が前にあつた
と思ひました。この原爆で五人に一人が死亡してい
てとてもきついな日でした。原爆がくると真空
地帯になりその空気が上によがりそれより上にい
かなくなつたら横に広がること分かりま
した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

私は、原爆先生の話を聞いて最初の方でマイクを使って音を出した時に今聞いている音よりも、もっとも、と激しい爆発音がしたのだらうと思いました。あと、京都に原爆を落とそうかと、アメリカ軍が考えていたということを初めて知りました。横浜や新潟を考えていた中で3つの選ばれてしまった都市にいた人で原爆によって今生きられている人たちでも、後遺しょうが残っていつもつらい思いをされている方がおられていることも分かりました。表面だけで太陽を超えるあつさを浴びて、その上に、がれきの下じきになっていたり、空気でまき上げられたりした人は、かわいそうで、資料にものこらずにただ生きていただけなのに、もっと生きられたはずなのに、せくなられたのは、聞いていなくても悲残だと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆をおとされた時に、話を聞いてはじめて、それが爆たんは、周りのあつさが7000℃でしたか、太陽は、6000℃で、太陽というのは宇宙の中にあつて、6000℃ですが、広島で落とされた原爆は、地面から500m上で、7000℃というのは、このあたりのあつさなど分かりました。原爆はリトルボーイというのがありましたか、横の長さが3.12mで重さが4tというのは、3.12mの大きさで4tもの重さ、何かを入れているということなのですが、それがラジオゾンデで、それは、すばいはいか力があり、それが時速300kmの速さで来るというのは、改めてすばいはいなと思いました。一番おとろいたのが、原爆投下目標地点のTの形をした所らへんにおちて、あんなに大きかった、広島県産業奨励館が、とても小さくなっていて、おとろきました。とくに広島の人には35万人でしたが、死亡した人数が14万人ということでは、5人に2人は死んでしまうというのと人の皮がはかれているというこあ、こうけいを見た人がいる人など分かりました。最後の映ぞうを見て、もともと、自衛隊でしたか、「助けてー」というのを聞かなくて、さあただけでもいたくなってしまうので、何もできなかつた自分に泣いてしまっていたので、おそろしさが、たくさん伝わりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

最初聞いたときは、ヤバイな、ひどいなと思っ
ていましたが、今日の特別授業で、どんだけ残こくな
のか、どんだけひどいじょうきょうになっていたの
かと分り、その原爆が2回落ちた茶室感なども、
分り、その原爆をうけた人々がどんだけ且かけてほしい
のか、どんな痛みがあしろないけれど、手を前にヤ
らないとしけなないほどおきかがすれて痛いと思
うひどいじょうきょうになっていたのが分り、どんだけが
ばって生ようとしても、もうをおくれにな、てしま
っている人もいたり、そして、原爆後の町や、人々を見か
たの自体験した人の話を聞けるきかいはもた
ない最後のムービーの言語で、泣いていた場
面があって、それいかに泣くほど残こくな
人だなということが心にスゴク感じてひど
いなと思いました。それに、原爆先生の特別
授業をうけていながら、たゞ昔のことを矢口お
よかったと思し、今の平和の時代になてよ
かったなと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆はとてもこわい物だと思いました。
原爆はもう二度おとしてはいけないくらい危険な物だと思います。
被爆者はこの時ひしににげ、生きようと川の中にとびこんだり、防火用水の中にはいたりとして生きようとしたなと思いました。
なんでこんなに大きく、重たく、速く、広島の人口の5人に2人が死んでしまう物を人間はつくったのかと私はぎもんに思います。
九日後でも女性のようひしに生きようとする人いるんだなと思いました。
池田義三さんはこん中でもこわがらずたくさんの人をたすけてとてもかっこいい人だなと思いました。
私はこんな中だしたら絶対にたすけにもいけないなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

・私は、原爆のことについて、最初は全く興味がありませんでした。でも、先生の話を聞いていたら、「原爆の記念館に行ってみたい」や、「原爆のことについて、もっと知りたい」と思いました。また、先生の話を聞いていると、心にグサッとするような表現や言葉があり、何とも言えない複雑な感情になりました。特に、被爆者の人形を見て私は「こんなに残こったんだ」と思いましたが、先生の「きれいさ」という一言に思わず「えっ」と声が出てしまいました。そのとき、「この人形がきれいなら、本物はどんな姿だったんだろう」と思い、少し想像してみました。でも、全く思いつきませんでした。「そのくらい、本物とちがいがあんだ」と思い、本物をいっしょに見てみたいなと思いました。しかし、人形を見ただけで「残こく」という言葉が出てきてしまった私が本物を見てどうなるかは想像したくありませんでした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生のお父さんや電話灯の人など
生きていた人がしていた動作がう
ん命を変えるということを知りもし原爆
先生のお父さんがドラムかんの所にな
かったらと考えると、一つの動きで変わるん
だと思いました。そして、原爆の記念館
の女性の姿で私は、すごくおどろきひ
んたと思ったのです。原爆先生の抜粋の
記、実際の場所はおそろしくい
てもたってもいられないような所だと知りまし
た。原爆には、いいことは無いということ
も実感しました。太陽そのものより高い
温度のぶたたいが東京で言う東京スカ
イツリーの高さにあるなんて、家も家族も
友達も自分もみんな無くなってしまう温度
なのでとてもこわいと思ひ、落ちた後に、
ひふがほおちょうしたり人間ではないような人
達が自分に集まってくる考えると逃げがて
しまいたくなってしまうので、原爆先生のお父

表

2/16



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は人を殺す物意外の何物でもな
い絶対にあてはいけない物だと思
いました。日本人は忘れたけれど、
忘れてはいけない悲さんな過去だと
思いました。親からも原爆の事を沢
山教えてもらって、夏にやっているテ
ビの原爆の特集やドラマを見ていま
した。改めて原爆のことについて知れ
たし、こわさも悲しさもはかなさもすご
く伝わりました。ただ、実体験に勝るも
のは無いと思う、自分でも想像したくない
地ごくの景色だと思えます。けれど、ぼく
たちも忘れないし、色々な世代に伝え
ていって、日本にずっと残さなければい
けないことだと思いました。池田さん
のように上手く伝えることはできないと
思いますが、様々な人に広めていきたいと
思いました。今回は来てくださって、本
当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 16

原子爆弾を投下する町や市にも条件がある
ことが分かりました。②の「平野であること」は、効
果的にできるように選んでいることにおどろ
きました。横浜のような人口の多い町も原
子爆弾を落とす候補に選ばれていると分か
り、おどろきました。条件の一つ目の「直径5km
を超える」というのは、市が大きくて、人口が多
くなるからではないのかと思いました。リ
トルボーイを投下するとき、先にラツオゾンテ
をつけて風力や気圧、落としたときの爆風を
計っていることが分かり、広島市を原子
爆弾の実験台にしているように思っ
ました。太陽よりも熱い熱が出るうえ、
頭上600mで爆発するので真夏がとて
も暑く感じられても、落とされたとき
ほど熱く感じられることがないと分か
りました。私は、原爆先生の特別授業を受
けて、原子爆弾から誰も逃げられないと分か
たので改めて恐いものだと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

- 原爆のひびきはヒロシマの歌などを
読み分かりましたが、今回の授業に
原爆のことについて、もっと分かりました。
例えば、原爆投下地に近いと、
人間がいっしょんにしてとけて、しみが
残ることやその時のひびきなど
です。こういうひびきの原爆が
14万人の尊い命をなくし、原爆症で
苦しめるということがとてもこわく
感じました。ぼくはこのこわさを知り、
原爆が危険で、使ってほくないと
思ったり、当時、原爆の被害にあって
しまった24万人の人々をかわいそうに
思ったりしていました。
- 先生が授業をしてくれたおかげで、
原爆の真のこわさを知ることができました。
この先、このこわさについては、絶対に忘れない
ようにしたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は太陽よりも1000℃も熱くて、東京タワーと同じ600mから、太陽が町中に落ちてくることと同じなんて、実際みたら、どれほどおそろしくてこわいものか、とりはだかたちました。そして、しょうしょう気流で雲になって上に上がり、横になっていくことが「原爆ドーム」ということを初めて知りました。池田義三さんが言た「きれい」という一言は、どういった意味なのかなと思ったのですが、その一言は、体験した人にしか分からないのかなと思いました。最後に見た動画で「原爆」とは本当におそろしいと、あらためて、実感しました。でも、この授業や本、博物館で、この「原爆」を調べて、おそろしいと知っても、池田義三さんのように、本当に体験した人でなければ被爆者のいたみや苦しさ、その場所がどのようなになっているのかが絶対に分からないなと思いました。でも私も、少しでも知れるように、資料を調べてみたり、博物館に行ってみたりと、体験しなくても分かることをたくさん調べてみようと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

特別授業を受けて、初めて戦争はやめてはいけないことなのだと分かりました。戦争が起こると、原爆をおとされて、大やけど、大けが、死に至ることになって、それが何十万人もこのことを受け、被害にあった人や、それを知った人などの心をふらい思いにさせてしまからです。また、原爆先生の原爆をおとされた時のさいげんでは、いきなり「ヴァー！」となって、セビりました。しかし、実際はいつくるのか分からないので、原爆をおとされた時の音は、さいげんよりも、倍におそろしい音なんだなと思いました。原爆をおとされた時にできた球体は、太陽の6000℃よりもあつい7000℃で、想像できないほどにひらくりました。また、その球体で、空気は上にいき、真空の状態になると聞いて、いきが吸えなくなって、せくなってしまった人もいたとすれば、それだけで何万人もせくなりになったんだなと思いました。広島市の死亡率40%、5人に2人がせ死したと聞いて、せ死した人が半分まで満たなくても、生きていることが、きせきだと思いました。せくなってしまった人、大けがをしている人の顔を想像すると、ふらい表じょうが想い浮かべます。授業を受けて、戦争は、とてもふらいことなのだと知ったからです。想い浮かべると、自分の心も



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

原爆先生の言話を聞いて、戦争のおそろしさか伝わってきました。特に原子爆弾のおそろしさか伝わってきました。原子爆弾は熱線などのおそろしいものがあることが分かりました。原子爆弾が投下されると、被爆者、死者がたくさんでてしまうことが分かり、とても危ない爆弾だと感じました。原子爆弾の熱線は当たるとすぐにものをとろけてしまい、鉄もとろけてしまうのでおそろしかったです。原子爆弾による衝撃波は建物を破かいし、秒速440mものすごいスピードがあることが分かりました。原爆先生の被爆者のことや死者の言話を聞いて、原子爆弾による原爆症に苦しんだり、大やけどを負ったり、今でも苦しむ人がいることが分かり、原子爆弾は歴史に残るくらいに危険な爆弾だと思い、おそろしいものだと思いました。原子爆弾による被爆者は広島市人口の約70%だということも分かり、多くの人に被害をあたえる

ことが分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

・私は今日この特別授業を受け、今まで「社会の授業」で戦争のことを勉強をした時には原爆の話が一番心に残りました。ですが、授業でやった時はたくさんの方が被害を受け、たくさんの方が亡くなってとてもつらく、苦しく、悲しい出来事だったのだなと思うだけでした。今日の特別授業では、実際に体験した人のお話だったので表現が生々しく、被害にあった人の苦しみや、つらさ、救世かへ行った人の大変さなどがすごく伝わってきました。実際に見たことも体験したこともない私が泣きそうになってしまうほどそこにいた人々の苦勞さが伝わり、体がふるえるようなきょうふも覚えました。そして、救助をしてくれた軍隊の方々があったからこそ今の日本があり、世界があると思いました。それは、軍隊の方々がいなかったら死体はそのままだし、生きてる人々も手おくれになり亡くなっていたかもしれなからです。私はこの出来事を心に入れ、つらい事や苦しい事があっても被害にあった人々を思い浮かべ、私より大変で苦しい人たちがいたんだ、という思いを胸に過ごしていきたいと思いました。

・私は義三さんの被害にあった人を再現した人形を見た時の「きれいすぎる…」という言葉が一番心に残りました。この言葉は実際に体験した人だからこそ言える言葉で、その言葉には様々



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆がおこった時は、みんな苦しい
思いをしながらも戦ってたんだな
と分かりました。

この原爆でたくさんの方が死んでいる
から原爆はおそろしいと分かりました。
また空中でもばく発できると分かりまし
原爆の熱さは、7000℃を超えて焼け
死んでしまった人がいて苦しそうだったん
だろうなと思いました。

原爆の死亡率も40%。死者数も14万人
いて被爆者数も24万人も布い被爆がい
に合っていると分かりました。また広島
の人口は、35万人約40万人いるけどだいた
いこの原爆で命を落としていると
分かりました。

原爆でたくさんの人や場所を失われ
ました。

原爆でたくさんの方がかがきせい
になりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

池田先生が父と一緒に、行った原爆資料館で、父がまるこげた^て手をはなれ^て前^に出している人形をみたときの「きれいすぎる」という言葉は、父がみたこうけいはも、と複雑でもっと深刻だったからこ^の言^えたと思^いました。何にも表すことのできないような、原爆のひがいを受けた人の思いや心が、ツシは分かれたと思^います。池田先生が急に大きな声を出したとたん、私は、びっくりしました。しかし原爆がおとされた直後の広島は、もっと大きな音につつまれていて、そこからまるこげになるような原爆の熱に襲^られるとなると、恐^ろしくてたま^らずせん^でした。だからその恐^ろしさをのりこえた人は、そこで亡くな^られた。また人の分^の生きよ^うとして^いると考^えました。原爆が落ちてくることは、だれにでもとめることができな^いし、実際に落ちてきて、広島の人^の5人に2人が亡くな^らってしまったことも事実だ^けで、今被害にあ^つた人の思いやその事実を知^らる^こと^があ^るこ^とに意^味があ^ると思^いました。もし知らな^から^なら^ば、原爆が原因で亡^くな^つた人にな^にも感^情をいた^さす^こと^ができ^なか^らな^かつ^たけ^れど、今は知^れた^こと^で、何^も知^らず^に生^きて^いた^のに、



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/16(火)

原爆先生の特別授業の中で特に印象深かったのは、義三さんが原爆資料館で人形を見ながら「きれいすぎる」と言ったことです。両手をななめ前方に出し、皮がバツリ落ちていたというだけで十分怖いのにそれが「きれいすぎる」ということは現実はその何倍もひどい有様だったのだと思いました。そんな中で遺体を焼いたり、消火作業を行ったりと9日間も働くことは、もし私だったら、とたえられないと思います。それでも、おめたくても軍の命令のために活動し続けた兵隊さんたちはすごいと思うし、それだけ軍の力が強かったということも改めて実感させられました。また、原爆にあい火傷に苦しむ人々カベツなどの水の中に飛び込み、生きようとしたのに水が「ふっ」とするほど熱くなっていて、結果多くの人々が亡くなってしまったということから戦争の悲惨さと原子爆弾の影響が強くわかりました。住んでいる人のうち、生き残っている人が6割になっただけで、その中で半分以上が被爆しているなんて、今では考えられないことだと思いました。でも今私たちがいるこの場所で昔そんな残骸はほとんど起こっていたのは事実だし、日

本も戦争を起していたのだから周りの国々に同じような被害を与えていたのだと思います。今ではもう有り得ないことだし、



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前は裏面に記入してください

表

私は原爆先生がとつぜん、何かを再現し始めて、「なにかが来るんだな」と思い、身をかまえてました。すると、普通の声ではない音が出て、ビュッとして体がはねました。これは、原爆が落とされた時の音を再現していて、身がかまえていた人でさえ、びっくりするのに、これかとつぜん来ると思ったら、「びっくりする」ぐらいの表現では、たりないと思いました。そして、今の私たち、日本人は、平和で、戦争なんかいらない世の中になつたのは、このヒロシマの事や、ナガサキの事があつてからこそだと思いました。私は、この国に「原爆が落ちて大きな被害」をもたらし、たくさんの被爆者や死者が出た」といふ現実があつた事実を最近知り、この戦争は、本当に正しい戦争なのか、それとも起こさなければよかった戦争だったのかは、分かりませんでした。でも、日本の歴史には、こんなこともあつたんだなということだけは忘れることがないと思いました。原爆の資料館でボヤッといつた、「きれいさ」は、亡くなった女性などに向けて言った言葉だと思いました。最後まであきらめず、全身におけどを負つても、強く、生きたいと思つた人々の意思は、かきこく、最後まできれいなまま、亡くなったという意味に、きこえてきました。池田よしぞうさんは、その言葉でいえるのは、体験した人だからこそだと思つた。 実際祭に体験したことと、かんばつて伝えようとしていふけど、そのごんこくさを言葉に表すのは、とてもむずかしく、それでもしぼつて、しぼつて



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/16 (水)

①実際に原爆が落された時に兵隊だった人は、資料館にいらして「きれいすぎる」といったほど現場は、そのかんたんなものではない、ということが分かりました。わたしは現場にももちろんいないので、かくさは、分かりませんが、原爆先生のお話を聞いて前より、かくさも知、たし、自分が今、生きているということ、ぬくまれていると思、い命の大切さも知りました。そして、原爆の被爆者が皮がはがれていたと想像しても、想像をせぬるので経験がないと全部のかくさは、知れないと知りました。

②わたしが今回一番おどろいたのが原子爆弾は太陽より熱いこと、です。は、つうわたしたちがくらしているときでも熱くてたみれることがあ、ります。それでも熱いのに原子爆弾は、1000℃も高い。それが東京スカイツリーの一番上ぐらいの高さからいきなりあ、らわれてくる。外にいた人たちは、どう思、たのかかからないけどわたしは、いきなりなに? いたい! と思、っていたので、お、じいかと思、いました。いきなり落とすなんてひどいし、車もソカは、軽くどこにしようかな、な、な、などやっていたのでそれはお、かしいし、他に方法はないか、たのかよく考えてほしいし、一回た、けてはか、たのに2回もやるなんてか、くさを知らないのだ、な、と思、いました。でも、このことを学んだので日本は、この経験で学、んだことが



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

原爆はとてもひさんな物で、これからの世界に意味をあたえる物だと思いました。原爆の被害にあつた人は、軍の人に助けを求めたり、たくさんの方が亡くなつてしまつたりと残こつて、軍につめていた人でも思い立すだけで涙みだかあふれてしまうほど悲しい物だと思いました。

けれど、原爆が落ちてきて、多勢の人々が亡くなつてしまつたけれど、戦争をやめて、今ではとても平和になつて、原爆の意味はあつたと思います。もし原爆が落ちてこなかつたら、今も戦争だけだ、たんじやないかなと思いました。

原爆のことを知つて、少し悲しいなと思うこともあつたけれど、大切さや、人々が亡くなつてしまう以外にもたくさん知れて良いなと思いました。

原爆のことを知つて、悲しみだけにたどえるのではなく、別の視線で見つて、生かしていきたいなと思いました。そして、この原爆のことを忘れないうにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

原火暴のひさんさがお話しを聞いて改めて分かりました。寧ろ祭に現土場にいなくても波火暴者の気持ちが伝わってきました。「兵隊さん、助けて...」の一言がどうしようもない現じょうだというのを表してすごく心にひびきました。アメリカの火暴撃木機は時速300km、リトルボーイの投下など、アメリカは牛物資が「ほうふた」と思いました。せき白くに生き残り、でも方丈しせ人をあびて起こる原火暴しょうがあたりと、原火暴はとにかくおそろしいものだともものすごく感じました。本人のビデオで再現された人形を見て「きれいすぎる」の一言からはいた人にしか分からない戦争のみじめさが伝わってきました。「ヒロシマのうた」や社会で学習した戸所がより強く、残さくた表現になっていると思いました。「ひふがべろりとはがね落ちる」の表現が何回も出てきて見たくなくても見なければならぬ、その状態を想像したらすごく見てられない事なのだと感じました。この現実があるからこそ、戦争のひさんさが日本には他の国よりも身にしみて分かると考え、その先、あつてはならない事だとすごく思いました。原火暴のおそろしさ、熱糸泉方丈し糸泉、衝撃波のひ害にあつた人々しものすごい苦しみを

裏面



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生がとうぜん、何かを再現し始めて、「なにかが来るんだな」と思い、身をかまえてました。すると、「普通の声ではない音が出て、ビーンと体がはねました。これは、原爆が落とされた時の音を再現していて、身がかまえていた人でさえ、びっくりするのにな、これかとうぜん来ると思ったら、「びっくりする」ぐらいの表現では、足りないと思います。そして、今の私たち、日本人は、平和で、戦争なんかつもない世の中になつたのは、このヒロシマの事や、ナガサキの事があってからこそだと思いました。私は、この国に「原爆が落ちて大きな被害」をもたらし、たくさんの方が被害者や死亡者が出た」という現実があった事実を最近知り、この戦争は、本当に正しい戦争なのか、それとも起こさなければよかった戦争だったのかは、分かりませんでした。でも、日本の歴史には、こんなこともあったんだなということだけは忘れることがないと思いました。原爆の資料館でボーンと聞いた、「きれいさ。」は、亡くなった女性などに向けて言った言葉だとも思いました。最後まであきらめず、全身にやけどを負っても、強く、生きたいと思つた人々の意思は、こよく、最後まできれいなまま、亡くなったという意味に、きこえてきました。池田よしろうさんは、^{その言葉といえるのは、体験した人だからこそだとも思いました。} 実尸祭に体験したことを、がんばって伝えようとしているけれど、そのごんこくさを言葉に表すのは、とてもおずかしく、それでもしぼって、しぼって



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

やっと出た言葉でも伝えきれないというのは、なんとも言えない、
 変な気持ちになりました。伝えきれない言葉でも、悲しさをわか
 く、感じるのに、よしぞうさんは、泣くのEたくさん、たくさんこらえて
 いる姿に、胸がしめつけられました。なぜ、人は悲しい思いをしな
 ければいけないのだろう。なぜ、人は、つらい思いをしなくてはいけない
 のだろう。ビデオを見て、私はそう思いました。人はなにがしらのことと
 かかえながら生きていく。それは人生なのかなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/16

私は原爆先生のお父さんが「ひ爆者たちの人形を見て「きれいすぎる」と言ったことにびっくりしました。私はあの画像を見て、失礼だけれど「ボロボロ」になっていて、とてもきれい、という言葉はおもいかばなかった。また、あの画像で「きれい」というなら、実際はどれほどボロボロできたなく、よごれてしまっていたのか想像がつかなかった。また、原爆のことでは、表面温度が7000°と言っている太陽が6000°だから暑さが想像出来ませんでした。そして外に出ている人はどれほど痛く暑い思いをしたのか、それともそんなことを考える予めもあつたえずに死んでしまったのかと考えると、とても悲しくなりました。話に出てきた、水の中や川から出てきた人は、助かると思っ水の中に入っていたのに、逆に水からさうして、暑くなり苦しみなから死んでしまったんだと思いました。7000°の暑さの想像は出来ないけれど「川までも暑くしてしまうほどの暑さなんだ」と分かった。死亡率が40%で「ひ爆率」が70%ときいて、そんなに多いのと思つた。広島の人5人中2人が原子爆弾で死ぬなんて、広島の人たちは（ひ爆者たち）なにも悪いことをしてなかったのに、どうして、こんな思いをしなくてはならないのかなと思つました。また、池田義三さんがヒロシマに行った時のことを言



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

っていたときに泣いていて、どれほど、こわくて、大変でたくさん
の死んだ人を見てきたのが、考えられなかったです。私は一度、
原爆のアニメを見たことがあって、こういうことが起きたんだと
知っていたけど、実際に話を聞いて、アニメと似ている所もあった
けどそれとは別に、まったくちがう所もあった。アニメではただ
「こわいな」とか「痛そう」「うらそう」という感じだけだったけど、話を聞いた時
「悲しい」「かわいそう」などアニメの時とはちがう考えができました。
戦争はこわい物としかあまり思っていなかったけど原爆先生の話を
聞いて戦争は、「かなしい物」と言っていることを聞いたことがあ
ったけどよく分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 16

原爆のお話を聞いて、原爆にあつた人たちの様子は、いくら想像しても、それを見た人じゃないと分からないと思ひました。あの爆発音を聞いたしん間に体が真、黒になつてしまうという事は、死んでしまうなどの気持ちも思う時間すら無いことを知り空襲を知らないのにこんな目に合つてしまうなんて、戦争は、かないんだなと思ひました。

原爆で運良く死ななかつた人も10年、20年と放射線に苦しんでいることを知り原爆をたつた1回落としただけでさんなにも苦しんでしまうんだなと思ひました。

ぼくは、原爆を落とされ戦争に負けてしまつた日本だけどこの原爆の事件があつたからこそ日本は平和主義の国として変わつたのかなと思つたし、アメリカは、日本がどんな国がどんな国だつたか知つていたからこそ、今の日本を守つてくれたりしてくれているのかなと思ひました。

そして原爆が落とされて、マケスに考えるのではなかつ、日本だけ落とされこの悲しみを知つているからこそ日本は変わつたというしたえぬいだという風に考えていきたいと思ひました。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生(池田さん)の話聞いて原爆が落とされた時は、大変で大勢の人の命が亡くなってしまった事が分かりました。

1945年に4本もの原爆が積んであるB29というテニアソンから来た原爆機が原爆を落としたことが分かりました。

原爆を落とす候補があたと知りました。

広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都が候補で一番効果があるのは京都だったが京都には人間にとって大事な物があるため、除外された。

これには条件があり、①直径5kmを超える事②平野であること③今まで空襲が無かった事の三つが条件であった。

原爆の特ちょうは横の長さは3.12m 重さ約4t 名前はリトルボーイ日本語にすると小さな子という意味

落とす時には計算して落とす。高さ9632m 目的の4km手前に落とし600mくらいになると高度感知で爆発する。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

そして爆発した時には地面温度が3000°にまでなる。

これで分かった事は本当に戦争という物は悲しくて危険な事というのが分かりました。

戦争で連勝したただでなくしにのり大勢の命を亡くしてしまうという事はすごく悲しいなと思いました。原爆先生のお父さんが泣いていた事がものすごく分かり本当にやってはいけないと分かりました。原爆資料館に行ってみてどんな事がおきたかがもっとくわしく知りたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは今日聞いた原爆先生の話を聞いてぼくはびっくりしました。理由は原爆がこの日本におろして社会ではならしてはいない日本を知ってよかったと思いました。あと、ぼくはなんで耳と目をかくしたのかなと思いました。ぼくはこう思いました耳と目をかくしたのは、(ヤ)のはさになり(ア)たりかたくさんあるから、目と耳をかくしたのではないかと思いました。ぼくは原爆先生の話をきき、ぼくは、けんはくたんとくら、てしまったら、ひんかいはか木たり、肉がはかれて骨が見えてしま、たりしてぼくは原はくは、くらたら、ひとたまりもなくひんかいはか木、たいてんたことなることがわかった。あと原爆が日本におちて死者が14万人ぼくはかないなと思いました。でもぼくは、これでよかったんかと思、ました。理由は原爆がおとされなければ日本はさらにおかしくなり日本はさいき、うなんたとかいらしてロシアやアメリカやさまざまな国々に行き、たおそれても、日本はさほ、うなんたて、てまたどこかの国に行くかもしれな、たからでも、原爆は、ドムが骨だけ、のってす、こ、かと思、ました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/16

アメリカは広島に原子爆弾を落としたが、一番影響を大きくできる京都に文化財がたくさんあり、保護しようとしたところが不思議でした。敵国である日本の文化財を守ろうとするのはアメリカの優しさなのかなと少しだけ思いました。

でも、「大きな都市」で「平野」で「空襲」がなかった都市をねらってなるべくその都市をこわそうとしたアメリカはいじわるでひどいなと少し怒りも感じました。原子爆弾を落としても、人がたくさん亡くなり、生きていても原爆症や放射能で苦しむだけなので、落とじた理由は全く分かりませんでした。「戦争を早く終わらせた」と良いことのようにアメリカは言いますが、日本に原子爆弾を落とすのではなくて、アメリカが戦争をやめれば良かったのではないかと考えました。原爆ドームの元の写真を見て、元々はおラスやカベがあり屋根もしかりとあったのに、今は骨組みみしか残っていないので、どれだけ原子爆弾のい力が強かったのかよく

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

分かりました。人の影が残るほどその場は熱くなり、一瞬のできごとだったのだなと思いました。逃げられる訳はないので、とても怖かったと



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/16

原爆は一発で十数万の人の命をうばう兵器というの
 のは知ってますが、被爆者やその参じょうを見た人の
 話を聞きくと人が人じゃない姿にもなることは始めて知り
 ました。のてとかげ日本は原爆(水)を持たない^と決意し
 たのでしょうか。今現在まで原爆(水)は戦争をさけ
 る「よくしか」でもあり使い方をまちがえれば「戦争のきっかけ
 となり」して原爆(水)を使えば「それは、生き物が
 入れない不毛な土地となる、だが」広島や福島の一部
 は復興した。今なほ原爆の被爆者、経験者のお話を聞けた
 のはとてもありがたかったです。また池田義三は被爆者を助け
 たり、ケガ人を救助したりと軍人とは思えないほどの優しい
 小生木格だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの授業をして、原子爆弾というものは、言葉で表すことができないほどのものだと分かりました。原爆は、太陽よりも熱い熱線音よりも速い衝撃波が2回、後遺症に苦しむことになる放射などの危険があり、とても悲しいです。原爆ドームや原爆資料館などに行って当時の状況を少しでも知りたいと思いました。上空600mのところに太陽より熱い原爆が爆発したとき、無事に死んでいった人たちはかわいそうだと思います。アメリカ軍は日本にしてみてもない悲しさをあたえたのでゆるせないと思いました。広島で生き残った人がぼくたちに戦争のむなしさを伝え続けてくれてありがたいと思いました。平和が大大切だと分かりました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

ぼくは原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講するまで、大きな爆弾が投下されて大きな被害が出た、という、あまりな考え方でしたが、先生のお話を聞いて、国語で学んだヒロシマのうたの学習も考えながら糸田かい被害をイメージして、爆心地の悲惨さがよく分かりました。原爆はかつうの爆弾とはまったくちがって、戦争の中でも一番恐ろしい兵器だと思ったのは放射能です。放射能は東日本大震災の時に原発からもれて今も家に帰れない人がいて、原爆はその恐ろしい物質を大量に出すから、原爆は恐ろしいと思いました。そして、話の中にある「ずるずるとひがが」のような生々しい表現で、本当に原爆は危険で恐ろしくて絶対に使ってはならない物ということがよく分かりました。原爆一つで14万人の命をうばってしまう、そしてその人たちのために被害が出たという事もなく、何年たってもまだ放射能が残り、今の人までも被害にあっているという事だと思いは思いました。兵隊さん達は人々を助けたくても一部の人しか助からなりのと、原爆資料館で被爆者を見て「きれいすぎる」と思うくらい、実際の人々は悲惨で恐ろしく、その兵隊さんのつらさがぼくはよく分かりました。そして原爆への考え方が変わり、日本人が忘れて



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくが一番おどろいたことは原爆で、かげもそのまま残るということです。つまり、どういふことがという、それほどはやく、一瞬の出来事だったということでしょう。でもなぜかげが残るかは分かりませんでした。

あと、意味だったのは、天候によって原爆を落とす位置を変えるということでも、9分、原爆を積んだ戦車という機材途中で気流などに流され、原爆が無駄にならないうまいようにするためであり、非常に貴重な物だったのだと、考えました。

原爆の熱は、太陽よりあつく、それが東京スカイツリーの上の方まで来ていて、あついとみでなく、消えるというのが、想像ではなかった。でもまた、1500℃で鉄がとけるというのに、もかがあらず、土也上の温度は、3000℃となり、鉄も人もとけてなくなるので、残さずと感いした。衝撃波の速さは、440%秒となる。音の速さは740%で、音の速さたつて想像できない速さだ。というのに、衝撃波の速さは速すぎて、感じることができず、おと不思議に思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

ぼくは原爆先生の授業を受講して原爆はとてもこわいものだと思います。とくにこわいと思ったのがしょうけきはと原爆の温度です。しょうけきはとても速く秒速440mで音速の秒速は340mなので音よりも速くしょうけきはをくわい、しょうけきはのあとに原爆の音が聞こえると知ってびっくりしました。そしてしょうけきはで人がきえさて、かけになてしまうことを知り、原爆としょうけきははおそろしいものだと感じました。それにはうけあは1回しかこないと思ていたけれど2回しょうけきはかきて1回目は原爆が爆発したとき1こきて、2回目は1回月のしょうけきはか地面からはねかえっておきると知り、びっくりしました。また、原爆の中心の温度は100万とでまわりの温度は7000とということと太陽の温度をこえるものが上空600mのところにおどるま、地面かおのすくあたためられ、600mもあるのに3000とまで温度が上がることを知り、びっくりしました。原爆の温度を受けた人間は体中のひふや内臓の水分が蒸発してしまうことを知って人はなぜこんなものを作ったかと思ていました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ほんとに原爆というのはすごく悲しくなるような事だ
 と思^つきました。軍団の人たちだけではなく何も関係のな
 い住民の人々も巻き込まれてしまった。広島県の35万人
 の中の24万人も被災者にあっいて、14万人を死んで
 しまったことが悲しい気持ちになりました。

原子爆弾が爆発すると衝撃波がすごい速さできて
 7000℃という高熱になってしまいます。7000℃は太陽の
 6000℃よりも熱いのではたにあたると大やけどになっ
 てしまいます。そして、皮膚がはがれてしまいこの皮膚が
 はがれてしまった人の写真を見て痛々しくなりました。

このようなことから原子爆弾というのは人をまきこみ死
 者をだしたりみんなを悲しくさせる最悪な物だ
 とぼくは思いました。生き残った人たちも家もと
 をなくなっいて、生活ができなくなり食料もない
 ので苦しかただらうなあとすごく心に残りま
 した。あらためて戦争のさくさくさや原子爆
 弾のこおさという物がすごく心に残
 りました。これからはこい悲しいことが起
 かないようにしてほしいとぼくは思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16(火)

原爆先生の授業を受けて、戦争はとても悲しい、絶対にやてはいけないことだと分かりました。

先生の話を聞いていると、今ではありえないようなにわい話がたくさんあって、とても驚きました。

原爆が落とされた日から、何日も経った今も、ひ爆者の人は、「原爆症」という病気で苦しんでいると

知って、戦争は初時だけでなく、思い出としても、しかり頭の中に残るから、とてもおそろいと思いました。

兵隊の人は、戦争中、自分だけでも精いっぱいなのに、他の人のことまでしな、いといけないので、大変だと思いました。

また、原爆の強さには驚きました。落とされた場所から、4kmもあるところで爆発して、地面は3000℃もあるなんて、今ここでは考えられません。

体中にやけどを負った人は、聞いただけでも痛々しい表現なのに、自分になったら、痛過ぎて泣いてしまうと思います。

左腕にけがを負った人の人は、痛いはずなのに涙一つ落とさずにしている、とても強い人だなと思います。

私はいから、体にも心にも痛みを与える戦争が一度もない世界にしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/16

今まで聞いた原爆の話の中で、一番想像がしやすかった。でも、義三さんが見たあの日のヒロシマは、自分の想像を越えるものだったと思うと原爆の悲惨さがより伝わってきました。僕も長崎に行ったことがあるが長崎で見た資料よりも、今日の特別授業で聞いた話の方が原爆の恐怖がより伝わってきました。また原爆が爆発した時の、爆心地の温度が3000℃と知ったが、3000℃ってどのくらい熱いのだろうと想像しておどろきました。原爆による被害がその時だけでないことも、忘れてはならないと思いました。また、それと同時に、原爆症の症状、それによる死者について知りたくなりました。また、他の原爆の話よりも想像しやすかったのは、話の1つ1つを細かく話していたからだと思います。この話を聞いて、原爆というものは絶対にあってはならないものだということが改めて実感しました。

今度、機会があれば現地に行ってみたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/16

私は、原子爆弾が落とされた次の日のことを知り、社会で勉強したより悲しいことが分かりました。池田さんのお父さんのビデオを見た時に、人々を助けたいけど助けられないというむなしさが私には伝わって来たと思います。

私は原子爆弾が落とされる時に、川に飛び込めはいいと思っていたけど、原爆が思った以上に熱いことが分かったので、防火用水の桶の中に人が入って亡くなった人や、服をぬぎ、川に入って亡くなった人は、悲しいなと思いました。

広島市の人口が35万人だけど亡くなった人は14万人、被爆者数は24万人と半分以上の人が被害に合っているわけで、この出来事は日本人として忘れないようにしていきたいです。

原子爆弾にも条件があることを知りました。落とす土地が直径5km以上であること、平野であることなど、爆弾にも条件があるんだなあと思いました。候補になった都市は6つあり、一番強くおさけていたのは京都府なので、京都に落ちていたら広島より、もっと



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

17才の若さにして死体探し、死体運び、
 消火をするのを知っていたことにおどろいた。
 普通なら働いた勉強したりしているところにな
 う命令がきてひき受けることができなかったか
 ひききれないので中しかできなかったことが伝わ
 ってきた。コンクリートで作られた水がまんばん
 に入っている物の中に入るほど体中
 が熱く水が蒸発するほどということから
 人間にはたえきれないと思った。球体が600m
 ばうくうにある太陽よりあつい物が落ちてくる
 とマクサタに逝きすぎた時点であつくな
 りそれにおいこぶさるやうにちと近づいてく
 ることによつてあとがたもなく消えていく人だ
 と思った。げんばくドームはコンクリートのト
 ンネルに希
 せき白くはいつている人以外死んでいること
 がその悲しみを忘れないためとこのことを知
 てもうたために糸原先生が教えた。作られた
 大事な物だと思ひにこれは戦いへの物だと感
 心した。広島に落とされた原はくは死体破棄

2



名前は裏面に記入してください

 じゅこう
 原爆先生の特別授業を受講して

表

40%というのは約2人に1人は死んでいくと
 この戦争は少しやりすぎたけどこのくら
 いしないと日本はこの時は終わらなかつたと思
 う。だからこの戦争で日本は平和口をちかた
 からこれをやりかたにもっと進んでいってほしいと
 思った。原爆も暴弾かとなされる場所
 を決めるアメリカは完全に日本をぼろぼろ
 うとは思っていないと感じた。なぜなら日本の京都
 は一番おさめていたけど、これは人にとって大切
 だということからエカめられるのにエカめなからたからた
 日本におさめようにはたけたと思った。これとくた
 人たちはムダ死にはしていったなと思う。これ
 とくた。死なれたから日本も変わったと思
 った。これにより後遺症が残っている人たちも
 池田さんみらいに特定非営利活動法人
 人としてやって戦争を知らぬ人たちにそのことを
 教えることで戦争のことをもっと知ってもらお
 うとやっているのを思ったから池田さんみらいからそのことをして
 今で話をつけていると分かった。 泉



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

学校で習って想像した時より、原爆先生が教
 えてくれたことを知って、ぼくは、すごくおどろ
 きました。まず、原爆がとてもおそろしい所です。
 衝撃波は、昔よりも速いので、外にいた人は、
 何も気づかず死んでしまうこともあるので、
 広島、長崎にいた人たちは、とても悲しい
 死だな、と思いました。そして、地上から600m
 もはなれていても、地上の温度は3000℃とい
 うものすごい熱さだと知って、なおさら亡な
 った人がかわいそうだなと思った。なぜなら、
 もし生き残っても、帰る家もなく、たよれる人
 もいないのだから、特別授業の前までは「こ
 の時代に生まれなくてよかった」と思ってい
 たけど、受講した後、それがとてもはずかし
 いと思った。それは、昔の人に失礼だし、原
 爆で家族や大切な人を亡くした人に対
 して、それはとてもひどいことだと知ら
 ったからです。そして、放射線をあびてしま
 たら、一生苦しむことになるので、原爆を



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

この世からなくしてほしいとも思った。
広島にいた35万人のうち14万人も亡な
たことを知って、今の世の中がどれだけ平
和かを改めて分かった。そして池田義三
さんは70年たった。平成の平和な世の中
でも、原子爆弾が落とされた広島のことを
思い出すと、涙がでていたので、日本人と
してぼくも知っておきたいと思った。も
し広島に行くことがあったら、記念館に行
て、ひさんさをもう学びたいと思った。これか
ら、戦争のない世の中になっていくと
ぼくは思うしねがっています。でも、このよ
うなことがまたおこらないように、この原爆
のことや、戦争のひさんさを忘れないよう
に、ぼくが今日学んだことを忘れないで、
この先の人々に伝えていきたいと思いま
した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

授業の時はあまり深ぼりされなかった原爆投下時の事から原子爆弾の力まで教えてもらったきょうな体験でした。自分でも原爆のこおさは十分知っていましたが今回の体験でこおさを超え、悲しみになりました。お化けは実際に存在するかもわかりません、ぼくだってお化けを見よと思わないし目を背むようになります。でもこの原爆はこの日本で実際におこったことであり、そのこおさには絶対に目を背むてはいけなないと思ひます。後世に語りつぐ牛物は右巻かに明るい事をついでいきたいです。でもこのよな事実をつぐ事によて、未来の人達がこの先の出来事にも目を合おせて、立ち向かつて行く事が出来る人だと思ひます。そして自分も受けつがれた身としてこれからの出来事に立ち向かつていきたいと思ひました。そしてこのよな事がこの先の未来にあってはならない、だからこそ、今、若い自分がこれからの平和のいじにつとめていけたらなと思ひました。そして自分も将来、だれかにこの事を語りついでいきたいと思ひました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆を体験していませんが原爆先生のお父さんが人を助けようとしても、助けられないもどかしさが伝わって、無傷な自分なのに、命を救えなかったことで悔しい思いをしたと思います。原爆一つでたくさんの方が死んでしまうので、私は近づきたくないのですが、原爆先生のお父さんは第2期生として仲間を張って、とても人思いな人だなと思いました。戦争が始まる前は、平和な世の中だったのに、国の上の人が、かたに戦争を決めたことで、多くの方が犠牲になったので、ひどいと思います。戦いたくないのに、命をかけて戦ってくれた人は、勝てるか負けるか分からず、光がみえない中で努力してくれたので感謝しています。その者たちのおかげで今の日本があると思います。10の資料で原爆を落とすときの計算がされていて、人を殺すためのものに、こんなに時間をかけるのは悲しいことだと思いました。16の資料で、普段の音の速さとは比でものにならないうらみの力で、始めて原爆を体験した人は、どうしたら良いのか分からなかったと思います。そんな人たちをおそった人も、「助けに行け」と言った人もひどいと思います。不平等な戦争を知っ

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

て、もう二度と戦争はしたくないと思いました。原爆ドームを知って、絶対に戦争はあきてはならないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

授業でならたときはただこわいだろうなと思っていたけどそれ以上に戦争がこわくておそろしい物なんだと分かりました。それと原爆の試しのために最終的にはじゅがこされたけど京都とかが候補になっていてひどいなと思いました。それに広島には4本も「リトルボーイ」が投下されたり表面の温度が太陽よりもあついで7000°を地上から600mの高さで地上が3000°の鉄がとけるあつさになるのはびっくりしたし、それに、1回目が発射で二回目がはね返、たものが来るので2回もひがこいにあつてひどいなと思いました。それに衝撃波で音速より速くてかげめたいなシミだけが残って人がーしゃんで消えるのはこわいなと思いました。それと空気がぼうちやうして真空地帯ができ、上しやう気りやうで雲になつてもう上がれなくなるところまで昇つて、上が平らになるのはすばいなと思いました。でも放射線が原爆症に今もなやんでる人がいて戦争はこわいなと改めて思いました。それに一発の原爆で5人に2人が亡くなつて人口35万人中、ひ爆者24万人、死者14万人で死亡率が40%もあつておそろしいと思つたし、それにけん爆ドームに展示してあるものを体験者は「きれいすぎる…」と言つているので私たちが想像しているものよりも、とひがこ

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

ものだと伝わってきました。なのでもう戦争はこれからずっとやらないでほしいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/16

原爆が投下するのに必要な条件が3つそろった
ら落とされてしまうので条件がそろった広島と長崎に落
ちたことを知りそのせいで何人もの人々が苦しんで
死んでたかを考えると罪のない命までもかん
たんにくぼってしまう戦争が少るせなれと思っ
ました。えらい人たちのもめごとや争いがこ
こまでひどいとなるとほくは争いなら簡便な
人たちをまきこまぬいて個人で勝手にもめてけ
んかしてほしいと思いました。原子爆弾は爆発し
たばかりのときは人はあまり死んでいなかっただけ
ど爆弾の爆けき派が広島中にひろがっていきま
建物がかくずれて火のたつまきがおきてそれにま
きこまれた人が大勢死んでしまったので原爆
の本当のおそろしい所は爆発した直後は少しの
死んでただけでほくんどなんともなかつたけど後
からほうしやせい物質がとびちたり火のたつま
きができたりしたのでにけまつたと思つたら後
からすごいのがくるといふ所だと思つたにかくお
そろしいものだといふことが分りひかい者がかわい



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾は熱線、衝撃波、放射線
 があつたことがわかりました。4万人の死者があつて
 いて40%の死亡率というときいてゾクゾクおそれ
 ました。そして原子爆弾は7000℃で太陽より
 1000℃高く広島は太陽がぶつかるかたとい
 う感じだったのかなと思ひました。そして衝撃波の
 速さが音速を100m速くしていることがわかりま
 した。原爆は4秒もあつたのに長さが1km爆
 はつすると200mにもなることがわかりました。
 条件が直径5km 落ちて平野で空襲警報があつた
 ことにおどろきました。最初は山、海、川があつて
 もおつたに答とすのかなと思ひていました。そして
 原爆は時速300kmとすく速くておどろきの音も
 てきたりさかした。それでも600mで原爆はつて熱線
 で地面は3000℃にもなつていたのでコンクリートでも
 ちぎれてしまつたりするのかなと思ひました。3000℃とす水
 はすく熱いおどろかしたと思ひました。原爆に当たつた
 都市を見ても①は広島で②は広島市の南側が
 付いた。原爆心から遠くまで広がつてしまつたこと



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の話 を聞いて、まずとても、こわくて、それは戦争を体験したことがないから原爆に対して体験してはいけな物ということがわかりました 約4世の原爆をおとし死者は14万人もいるということがわがたし原爆ドームの現在とおとされる前を比べてみたところとても、おどろきました。粉以上もふきとばされて、遠いのにこれほどの衝撃があるし、人もはなれているのに、3000℃ 近くの熱さを感じるというのを考えると、ゾッとすし、かけたのころないのはとても、残こくなことだと思いました。社会で原爆はならいでしたがまた、自分のしらないことがありました。「広島だけでもこんなに被害が…ほかの地域は？」などと気になることもあり、また、宇品三丁目は原爆のはんに少しはいらていますがそれでも、熱風だし、10mもとはせらうないつゝくがありうえから落された人は、飛ばされるどころではなく形も残ずとてもこわいということがわかりました 原爆先生の話 を聞いて、だから、テレビでも原爆戦争をやってはいけな物、てはいけなもたせないつくらせなというんだなということが改めてわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

今日、授業をうけて特に心に残った事は最後の動画で戦争が終わってもなお先生のお父さんは泣いていたことです。ぼくは原爆暴については社会で習った程度しか知らないけれど、先生の話をきいたりしてどんなに時間かたても忘れられないほつらい物だったんだと伝わってきました。広島の人約5人に2人は死んでしまうと知ってびっくりしました。クラスでたとえるのも良くはないけれど30人いれば10人以上が死んでしまうということなので本当に怖いと思いました。原爆暴は太陽よりも熱い7000℃で衝撃波の速さは音よりも速いきいてぼくには想像もできませんでした。そんな強い物がいきなり空からおちてくるなんて怖すぎると思いました。先生のお父さんが博物館に行ったときの「きれいすぎる」という言葉から原爆暴を体験していない人には絶対に考えられないような物だと分かりました。米沢先生も言っていたけれど戦争はつらい物だったと知らないといけない大それた事なので博物館に行ったりしてちゃんと覚えておきたいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて原爆は罪のない
人々が沢山亡くなられて何の予告もなしで、
とても怖いものだと改めて思いました。太陽より
も1000℃以上も熱いものが空から落ちてきて
何がおこったのか分からないままいつのまに
かやけどを負っている人やたおれている人、
建物は粉々になってしまいとても怖くて
苦しかたと思いました。原爆の候補となつた
3つの都市があつて8月6日たまたま広島は
快晴だから落としたのはとてもひどいと思
いました。義三さんのトラックにやけどを
負つた人々が助けを求めたけれど、体の皮が
はがれ助け出すことができなかった出来事には
とても胸が痛みました助けたいけれど助けられ
ないのはとてもうらかつたと思いました。それは、
経験した人にしか分からない私たちには伝わ
らない気持ちと原爆が落ちた後の様子だと思
います。やけどだけでなく、ほうしゃをあげた
人々が原爆症でせくなつた方々も沢山いて本当に恐ろしい

表

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

出来事だと思つた。同じ日本でこのようなことが起きたことは絶対に忘れてはいけないと思つた。今戦争がなく平和にくらせているのはどれだけ幸せなのかと思つながら生活していきたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/16

話を聞いて ぼくは、原爆はそうぞう何十倍もあまなる、
 いりくたの^①など知った。原爆は一つでも広は田で、
 ばくはつするところも600℃にもたいた。今いるぐらいのたか
 ても300℃ぐらいの温度にたるとまじと始めて知った。また、
 水に入るともたすかたがたない^①たとは広島にいる人
^①、40% がたくなってしまった理由が分かった。今の自分が
 はその時どうなっていたのか分かんないけど、広島にい
 る多くの人がたくなっていてた所をまもるかたると、な
 にもできないし、まもるしく感じた。ぼくは、
 こと原爆のいりくや原爆のせいじつをして、
 まじまじみてもたまた、いま原爆についてあまり
 しらない人もこの戦争であつたことをしてい
 か言ければいりない意味をしつた。池田義三さん
 見たことや、ほうせんとしたことをした^①で、まじえ
 んに忘れないで戦争はまじなまことや原爆の
 つらいことをまじ知りたいと思つた。
 ぼくは他にも、このことを家族にはたした、
 まじ戦争の記録の^①のつているまじ所へ行
 きたまじしらないことをしろうと思つた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

原爆というのはあらためておそろしくごんごんな物だということ
 が分かりました。原爆を投下する条件で今まで空襲がなくして原
 爆の効果が覚悟だと思えるところに投下するというのを聞いてた
 ということが分かりました。原爆を投下して単独をやめさせ
 るようにしてあげたけどごんごんにやめさせたくて、日本をうらんでい
 って暮らしている人々をまきおすというのはひどい、悲しいなと思
 いました。原爆先生のお父さんが原爆資料館で人形をみ
 たときごんなやましいものじゃないと言っていたとき原爆でけがし
 てもおい肉がたまたまおちてしまううけ、見たら人形をみかど
 はわからない、あの時の悲しみや苦しみはごんごんなもの
 ではないほどにわかったのだと思いました。原爆が落とさ
 れたときと現在ではすぐ変わって、いまでも授業をきいたら
 今ごんごんに平和になっていく命をなくすことのない世の
 中を感謝して暮らして今までとこれから、を生きていこ
 うと思いました。エラゲイというのはチベットたいあお母さ
 んの名前だということも初めて知りました。投下した原爆の
 後の野を鞆かっていたのは日本は他国をこたごんごんこと
 をしていたから日本もごんごんことになったのだというのを
 知らしめたくてとっていたんではないかと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の授業をうけて、あらためて原爆は危険ということが分かった。自分の思っているより原爆、というのはすごいというのが伝わった。理由は、リトルボーイが約4tあることははじめてしたけど、それ以外、とぼくのしらみにもとが、あって、爆発した時の熱のかたまりの球体は、直径200mなのはしっていたけど、爆発した所が地上じゃなくて、じょうくうで爆発したのははじめてした。他にも、爆発でできた球体のひょうめんは、7000℃で、太陽よりも1000℃もちがうというのが、はじめて分かった。そして、その球体の中心は、100万℃というもはじめてい、その球体から600mはたぬいても、地上までは、3000℃もあることがわかった。爆発にたえて生き残ったとしても、放射線などで原爆しょうにかかり死んでしまった人がいる他に、爆発と共に、すぐ死んでしまった人が、たいてい2万人いることがわかった。人をたすけようとしても、ひょうめんとか、ズルッと引、はりあげようとしたたけで、はがれおちるぐらいのやけどもおうことがわかった。爆発でたてものか、とんたなけ、ついでにはたよく、爆発した時にできた。しょうげきはで、こわい、たのことがわかった。リトルボーイがおちているときは、時速300km以上たのがわかった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆で亡くなられた方は14万人もいたけれど、原爆が落とされこ少したっこ亡くなった人もいるのと同じわかりました。ということはおもとはやく目かけがきこいれは大勢の人が助かったのかなと思いました。その日たまたま晴れていたから落としたとわかり、そんなことひとの運命が左右されてしまうことがあるのだなと思いました。原爆資料館の人形を義三さんが否定していたが、写真で見たかぎりでもその人形はひどいありさまでした。さすがそれよりひどいとなるとしても想像できません。そこにいた人は大やけどでドロドロの液体が垂れている状態になっていたのて、自分におきかえるととても痛々しいと思いました。いきなり太陽のようなものが上にあざわれたらおどろくというひまもなく亡くなるというのはよ、1歩どくやしくてしかたがないと思います。義三さんは、その亡くなったひとが軽から、この中でその人たちをいっしょうけんめい運んでいてすこいと思いました。日本は今戦争をしないと言っていますか、もし日本や他の国が戦争をしおとして

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

（たまたま色紙にやめさせなければならぬ）と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/16

ぼくは原爆の授業を受けて、家がこわれて平
 らな町になることばかりを、原爆が爆お
 する音、そこにいた人たちの様子が細かく分かりな
 した。原爆の落とす場所が長崎や広島では
 なからたら今現在どうなっているのかと不安の
 原爆を落とす条件に「空襲がなかったこと」がある
 ので今では大都市の広島に空襲がなかったのを
 考えると作戦が何かあったのかなとも思いました。
 原爆は、とても高い温度になるので、水は飛びひてんたら
 水がぶっとうするなんて人間のたえられる温度ではない
 ことが分かりました。原爆の落とす飛行機は、速く
 にけてゆき高度9000メートルくらいから落として、水の
 てにける時間をかかっていたのかとも考えま
 した。飛行機は「リトルボーイ」のほけまで2回受
 けていたたけたらたので原爆を落とすのはいいと
 いとも思いました。日本を変えるためにはこれだけ
 かながたのがな思いました。原爆で40%、
 5人に2人が死亡するので、二度とくりかえすことか
 ないようにならしてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/16

・原爆が「ここまで悲しいものだ」とは思わなかった。ヤッポト600m上に、太陽よりも熱いものが現れることを想像するだけで「もかなりこわいのには、その想像をもっとこえるというのは、あまりにもひどすぎるな」と思った。急にとても大きい音が聞こえて、それならたぶん自分と自分のほかの人が焼けていて、水が蒸発してしまっようなほどの高温になっている、そのほかになんかにかにこすれるだけで「激痛がすることは、あまりにもひどくてこわいのには、さらに何かおそえているのか分からなかったし、いっしょで自分のまわりが焼け野原になっていることのきょうふもあると思うので、想像を絶するきょうふと痛みなだろうな」と思った。原爆資料館にある写真や人形を見て、なつの感情もあかないところか、被爆者の人形を見て、きれいすぎると思うほど、原爆の被害を受けた広島現場はあじかったらだろうなと思った。広島市の人口の35万人のうち、24万人もの方が原爆の被害を受けて、そのうちの半分

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

以上の方が死んでしまって、死亡率40%というのだから、あまりにもひどすぎると思った。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/16(火)

戦争を授業でならった時、とても苦しくてひどい事があった事は分かったけど、太陽より上の物を急に落とされてこんなじじいがあったと分かり、戦争は本当にあってはならない事なんだとあらためて感じました。リトル・ボーイが落された時、真下にいた人たちが一瞬でなくなる事がありえないと思いました。一瞬でなくなる人がいるはん囲が200mもあって逃げようとして逃げられないはん囲でとてもざんこくだと思いました。原爆が爆はつるのは地上にあたった時かと思っていたけど、600mの高さで爆はつっていて思っていたより高く安心したけど、地上の温度は3000というありえない温度でアメリカは最悪な物を作ってしまった。アメリカは怖いと思いました。原爆が落ちた音を池田さんが声でさげんしてくださっていたけど、本当はもっと大きくて、衝撃もつよくて、ばきみな物なんだとそうぞうしてしまいました。アメリカがリトル・ボーイを落とす時、4km前で落としていて計算をしてかならずたくさんの人をころして、日本をどんぞりに落としたいと思っていたらやっぱりアメリカは怖いと思いました。池田さんのお父さんが戦争のお話をしてくださっていらした時、なみだがあふれていて、思い出す事もきょうふになってしまう事が分かり、にと世界中で戦争で苦しんだり亡くなった人たちがいなくなってほしいと心から思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕はもともとリトルボーイという原子爆弾がおとされたことや、候補地に京都小倉があつたことなどのことは知っていたのですが、そういう理論的なことではなく、実際に見て「なにと分からない悲惨さなど」ここが大切なことであると分かりました。ファットマンが日本に落とされたといううわさをきき、無意味だと分かっているにもかかわらず、身をひそめたのぼとが少しづつ形を失っていき、ついに跡しかない状況に、恐怖を感じていたからなのだと思います。1962年にキューバ危機がおき、第三次世界大戦がおきそうになったことを僕はきいたことがあって、それがそのことなどから、このように被爆者がうまわてしまつていくためには、国際平和を維持し、戦争・反戦がおこらぬように、地球規模の努力が必要だと思います。また、そのようなものは兵器として活用するのではなく、恒久的な平和のための抑止力という立場におき、絶えず何も破壊してほしくないと思います。原子力発電所は、集めるために必要な電線を牽いてつくり出そうと考へたもので、再生可能エネルギーなどを活用してつくり出した方がいいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

私は、原爆のことについて初めて知ったことがあり、原爆でやけどをしてしまった人が腕を前にして歩いていてそれはへんなふうにやっていないでしっかりと意味があったのだと分かりふつうに歩いているとわきがこまっていたからたのだと分かり腕を前に出しているてもこまっていなくてもとて思ったのかと思います。広島県の広島産業奨励館では、真上から原爆をおとされ中にいた人は必然炭になってしまったと分かり、ふつうは真上からおとさないだろうと私は思い中にいた人たちはとてもびっくりしてしまっただのかと思います。うず巻きで人が焼け死んでしまったと分かり、うず巻きで火が来たり飛び散られたりしてしまっただのかと思います。広島での人口が35万人で原爆がおとされ死亡率が40%で5人に2人が原爆で死んでしまうというので、5人家族をたたくと2人も死んでしまうのでとてもいやだなと思いました。太陽の温度が6000℃で地面が3000℃だと分かり、太陽と3000℃もちがうのに地面は火など原爆がおとされていつもの時とはまったくちがうのだと思います。最後にビデオを見て本当に原爆のあまところにいる人はとても

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

つらい思いをしながらたくさんの死体をはこんでいたのだと思います。この話しを聞いてたくさんの人が死んでしまったり



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

今日、原爆の事について話してもらって、私は原爆を本当に見た事もあった事ありません。ですが原爆、今日教えてもらった「リトルボーイ」という原爆で何万人もの人が命を落としたのはとてもこわく、苦しいと思いました。原爆をあびた事によって、火傷・体がもろくなってしまっ、そして生きのびたとしても、病気にかかって後も苦しい事になってしまう人もいます。矢叫ました。原爆を落として、原爆が爆発した時、丸い円のような形になり、その日時の表面の温度は太陽の表面の温度、6000度を上回る7000度だと矢叫おどろきました。その時、その原爆を落とした爆げき機にもしょうげき波が二回も来ました。一回目のしょうげき波が地面にはねかえり、できたしょうげき波でした。しょうげき波は音速より早いというのが分かりました。そんな、原爆は広島と長崎に落ちました。いきなり晴れた天気の良い日をおぼらして落とされた原爆はともこわいと思いました。いっしょくで人が消えてし



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/16

僕は原爆を体験したことがなく、どのようなことか分からなかったけど、先生の授業を聞き、原爆が落とされたときや広島がどうなっているか、などの当時生きていた人の話を聞いて、実際のことを知れたといううれしい気持ちでした。話を聞く前の原爆のイメージはリトルボーイとはかけはなれ、小さいイメージでしたから2mもあることは知りませんでした。また原爆は重いのであれば、真下に落とすと思っていましたが、4kmもはなれまして4tの重さに機械をつければ、風の強さを測れることができることが分かり、聞いていたら「アメリカの原爆はすごいな」と思いましたがやはり戦争というのは大変危険で、とても恐れることであり、人が亡くなってしまってもあり、僕はすごいという言葉が出ませんでした。戦争のせいではいじめを身った人々もいるかもしれないけど戦争は覚えはいいからなので、原爆先生の授業を聞いて、日本に数百人、又は数千人が戦争を体験をしている人がいらないので話をしてくださって、感謝の気持ちでいっぱい

です。ありがとうございます。
特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

正直に言うと原子爆弾のことをあまり見ていません。話を聞いてこんなことが日本に本当にあったことだけでもこわいののに、投下都市の候補に京都がねらわれていたのにおどろきました。また天候によっては、投下しないということは、そこまで確実にしとめたかったのだなと思いました。また、原子爆弾の温度が太陽の表面温度より高いことや、外にいた人が一瞬にして消えてしまうのはただただこれくて人の水分を一気なくしてしまふほどの温度が逆にあることがおどろきました。それに衝撃波と熱線と放射線の放射線は、原子爆弾以外でも原爆症のような痛氣になってしまうからこわいと思いました。さらに広島市の人口35万人中14万人が死んでしまい5人の内2人が原子爆弾で亡くなるのだなと思いました。また、衝撃波だけでも人が死んでしまうくらいなので笑われることでは無いなと思いました。人がまばたきをするまでに死亡してしまう



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私はひおはあさんが戦争を経験していたので
少し話を聞いたことがあったのですがまだ小さい頃
であまり覚えておらず今日初めて聞いたことが沢山
ありました。47も原爆が重いことが分かりました。
37も原爆をおとす候補の県がありさらに37あ
たことが分かりました。とても怖い②の候補は
祖父の住んでいたところなのでもし原爆がおと
されていたら今の私はいなかたんたなと思いま
した。原爆「トルボーイ」にパラシュートがついていたと思
われているのは昔の人がラジオゾンテと間違えてそ
う思っていたということが分かり、原爆がおとされるか
もと事前に分かっていたということなのかなと思いま
した。きゅうたいの中心は100万と熱いと分かりま
した。それが200mと大きくて表面だけでも太陽の
表面6000とより1000と高い7000とで火傷じゃすまな
い温度で原爆のおちる近くにいる人は一瞬で
熱いとも感じなかつたろうなと思いました。地上た
けでも3000とあり内臓までの水分が一気になく
なると聞いておどろいたします。体がまたないんじ



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆のことについて授業をして、原爆をおとされてしま。た広島と長崎はとてつらい思いをし、怖い思いをしなから助けを求めたり、生きていたことが分かりました。リトルボーイという原爆をパラシュートにつけ投下するという作戦は、広島の人たちはまちがいたかと思っていたけれど、風の速さなどが測れるラジオゾンデをパラシュートにつけて4kmも手前で落としたのでアメリカの人たちの作戦はアメリカにと、てはいいと思っただけで日本にと、てとてつらかったと思いました。雲が上に上にと上がり、上がりきれなくなった雲が横に広がり、きのこ型の雲になったことも分かりました。広島県産業奨励館は、しょうげき破がちよくあびてしまい、やけた後はげんばくドムという名前になったことも分かりました。九日間の間、ずと亡くなてしまった人たちを運んだり、手足の皮などがおちたりしていたところを毎日毎日見ていたので、実体験をした人たちはにげれるならにげてもいいくらいつらかったと思っただ。放射線をあびてしまったら、原爆症になてしま、たり、5人に2人は原爆者になてしま、うし、広島市の人口は35万人で、い爆者の人たちは24万人もいたのでほとんどの人たちは、重傷などを

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

おてしま、ているとが、か、た、ので、これからは、命をもと大七かにしていこうと思っただ



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の授業を受けて、原爆のおそろしさを学びました。僕ははじめ原爆というもののおそろしさをあまり知りませんでした。授業をきいていると、戦争中の人口は楽しいという感情が伝わらなく、こわさでみちあふれていました。そして具体的に衝撃波、熱、ほうしゃのうにより人々を苦しめたことがよく分かりました。衝撃波は、木ぞうや小さな建物がこわされてしまい、熱は3000℃ほど高かったため、鉄などのものがとがされてしまい、ほうしゃのうによって人の体がおかしくなりました。たのびで広島は大変なことになってしまったと思います。教科書などでは伝わってこないおそろしさが伝わってきました。そして原爆投下都市の条件の中に空襲がなかったというものがあつたので敵は人々に苦しみを伝えたかたのだと思います。広島では、体をけがして苦しんでいる人が大勢いました。そしてたくさんの方が亡くなつてしまいました。それなのに、長崎にまで原爆を落としてしまつたのはひどいと思いました。僕は今日の授業をきいて、戦争がどれほどよくないものか、そしてどれだけの人を苦しませているのかがはつきり分かりました。これからの時代は争いをすることなく、人を



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

僕は原爆というものはつつの火暴る単ではないことは知っていましたが、これまでひどい兵器であるということが被爆者の方々よりは、当然分かりませんが、特別授業を受講して分かりました。そして原爆というのは、人の身体を傷つけるだけでなく、その状態を見ている人々の心までそこおしてしまふということが特別授業で分かりました。また、原爆は音速よりも衝撃波の速さのほうが速いので身を守ろうと思って守るまえに衝撃を受けてしまうということが分かりました。原爆は一度では終わらなず、熱風が後からまたくるのでお話しにもあたとおりほんとうにじごくのようだと思いました。原爆のようないじごくをつくる兵器は今後絶対つめてはいけませんということが特別授業で深く分かりました。そして原爆によってたくなた方を今後とも忘るてはならないと思



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田先生、本日はお時間をいただき原爆について言告していただきありがとうございます。僕は社会が得意な方なのですが、原爆についてはあまり詳しくありませんでした。ですが原爆がおとされた広島がどんな状態だったのか、そこにいた人はどんな状態だったのかがよく分かりました。航空機の名前や原爆の名前は授業で本でもなかなか出てこない名前が矢張り知れなかったです。また、原爆投下場所が原爆の特長も聞けたので絶対忘れないうにしたいです。そして、その後の終戦が当時の人にとり、どれほどよろこばしい事だったかがよく分かりました。ですが原爆は人間がつくり出した兵器なので、もう二度と同じまちがいをおかさないように将来は努力していくと思います。それに戦争をしたのも人なので、それからは罪の無い人々を無差別に殺すようなおろかな戦争をしないように兵器を無くす取り組みを将来してみたいと思います。今回のお言告を聞いてもう一度

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

お言告しが聞きたくなりました。もし機会があったら



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、社会科の授業で戦争について習いました。でも、原子爆弾についてはよく知らなかった。原爆先生の特別授業を受けて、思ったことが多かった。印象的だったのは、原子爆弾をおとされた広島の方々がひなをする時大きなやけどをおいて指先からひんがはがれていながらも「軍隊さん助けて」と必死に助けを求めているところです。先生の話聞きながら想像すると、生きているだけではない状態だと思います。だから私もみんな助けてあげたいと思うはず。でも、引きあげようとすると皮がはがれころんでしまうということを知って、ひがいにあつた方々も助けたいのに助けられないという状況も苦しかった。また、先生のお父さんが原爆資料館で当時のけがをおつた人の人形に向かつて「きれいすぎる」と言つたことが心に残りました。私は体験していないから、当時の状況は想像するしかありません。でもおもひえがくといつたいたい姿が頭にうかびます。でもお父さんが「きれいすぎる」と言つたということは当時のその場にいた人にしか分からない生々しさとか悲しみがあるんだらうなと思つた。たつた1日の原爆でも、熱線、しょうげきは、放射線によるひがひがあり、そんなこと一生

先生のお父さんは本当にこわかつたと思つた。こゝろは、まとお父さんけではない。その場にいた人ほとんどだと思つた。その時のえいほう、ひがひは今でも原爆症となつてついでいます。こんなにつらいことは日本だけでなく他の国でも起きてほしくありません。この出来事なんの前ふれもなく急におつたこと。うことがまたさらにこわいと思つた。

おきてほしくないと思つた。また、原爆は太陽よりもあつたことを知つてどれだけあつたかがよくわかりました。その原爆によつて体内の水分が一気に蒸発して炭になつてしまうことを知り、ほんとにこわいと思つた。当時17才の



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16(木)

原爆で軽傷で済んだと言っていたけど、10mも飛ばされて、私だったら軽傷と思えないけど、つかんただけで、皮がむけるというのを聞いた時10m飛んだだけで済んで、幸いだったんだなと思いました。原爆の本などを見た時に不気味な空だったとよく聞くけど、その原因は、自分の心の状態を表わしているのかと思っただけど、言ひを聞いて、本当に不気味だったんだと分かりました。私は皮がむけるという事を見た事がないから、想像しづかいし、したくないけど、映像を見た時かあたふ、自分は、今話を聞くだけでも、おと覚えているし、おけととかをした時にフラッシュバックしそうだけど、もし、映像を見たら、毎日フラッシュバックしてそのたびすどいかな気分持ちになりそうだなと思いました。皮がむけたりしている人が助けて...と言っていると言っていたけど、自分がその立場になったら、殺して...と言おうたから、そんな状態で生きたいと思える心がある昔人はすどいなと思いました。逆にここまでの原爆を作る事が日本人の心を考えて、京都にするのをやめたと話していたから、日本人の心を考えているならなんでそんなに強い原子爆弾を作ったんだらうと思



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16火

ぼくは原爆先生の話を聞いて、原爆はとておそろしいものだとあらためて分かりました。そして人を悲しませるものだと思います。これからこんな事が起きてほしくないと思うしほかの人にも原爆について話し、原爆はとておそろしいものを知ってほしいと思います。原爆はとうたると時速400kmでとうたると分かりました。原爆は600mをはかれていても3000°にもなると分かりました。しかも4セもつんでいると分かりました。原爆は広島の人5人に2人は死んでいると分かりとても多くの人がかなくなったと思います。原爆太陽よりもとても高い温度だと分かりました。原爆はいらんて家がこなごなになってしまうと分かりました。3000°にも焼けていたらやけどではなく大やけどをおうと思いました。この話しはかならず、これからは必ずと忘れずにしていきたいと思います。また4kmまえからとうかしたんだと分かりました。死亡率が40%だとほい人口の半分がかなくなったと分かりました。原爆は真上に円がでるそれは100万°にもなると分かりました。とうたれたのはリトルボーイとい



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2 / 16

私は、原爆先生の池田さんのお話を聞いてみて、今までは戦争について表面的なことしか知らなかつたけれど、今回聞いたお話で原爆のおそろしさや被爆者の方の生々しさが聞いていただけではもすこく伝わってきたので、原爆を実際に体験して自分の目で見てきた池田義三さんは戦争が終わって60年も経った後の今でも思い出したついても泣き出してしまふくらいおそろしくて悲しかったことなのだなと思いました。また、戦争を体験した祖母がまた今の私よりも幼なからたはずなのに今でも戦争のことを鮮明に覚えていて戦争を題材にしているテレビ番組などをあまり見たからないのを不思議に思っていましたか、この授業のおかげでやっと理解できるようになりました。そして、広島平和記念資料館に行った池田義三さんが被爆した方の人形が「きれいすぎる」とおっしゃったことにとてもおどろきました。なぜならば、私はあの人形の手がろくろくのとけたろくろくのようになっていてこんなに人間の手はぐろぐろにならないかと思っていたので、実際にはやはりもつとひどいからたということかとしてもは



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は人間の皮ふがとけてしまうほど高温だ。たことがわかりこわいな^よと思いました。トラックが来た時に夕勢の人が乗ってこようとするほどみんな死にたくない...死にたくない...と考えていたんだな^と思い原爆で亡くなった人はつらかったらうな^と思いました。太陽より1000℃も高いものがヌオイツリほどの高さにあると考えたらとてもこわいな^と思いました。義三さんの「きれいすぎる」と言う言葉から原爆のひがいは原爆のひがいを見た人にしお分からないほどおそろしいものなのだ^なと思いました。リトルボーイは時速300kmで落ちこきてしま^せうからひなんする時間^もなかつたのだらうな^と思いました。衝撃波の速さは音速の340^mを速いことがわかりとてもこわいな^と思いました。死亡率は40%。と5人に2人死んでしま^うのはとてもこわいな^と思いました。地上の温度が3000℃にな^るてしま^うということが分



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

原爆の中心の温度は太陽よりもあつく、中心にいる人はあついと思うあいだもなくすぐに、死んでしまうので、すごく強く危険な物だと思いました。しかも助けようとして、手をさしのべても、皮ふははがれてしまっ、て助けられないからそのままにするしかなく死亡率が40%とい、てもな、とくできます。そして5人2人が死亡しているの、で義三さんは一生忘れることのできないこう景を見たと思、いました。だから義三さんはその時のことを言、うときにな、っていたのた、なと思、いました。そして、火暴げきのい、害にあ、た人は防、火用の桶の中、にいたの、でそれほ、どあ、つく水がな、いとくるしい況、状だ、たと思、いとつ、て原爆がおとされたの、でい、害にあ、た人や、そのこ、う景を見、た人はす、ごくい、やな気、分にあ、つて義三さんが何回もは、い、ていたの、でその時の広、島はじ、ごくそのもの、だ、たと思、いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特別授業を受けて
 改めて戦争原爆はとしても危険でこわく、け
 して二度あってはいけないうものだと思いま
 した。まず一番印象に残っているのは飛行
 機の音がなったりやんだりして、しずかになつた
 思っていたら、急に「キャー」と声かしてとてもお
 どろきこわかつたです、広島その時間にいる人
 はそれ以上その何十倍のこわさだつたと思いま
 す。次に原火暴がおとされる候補だつた都市は広島と長
 崎以外に小倉、横浜新潟、京都があつたのは初め
 て知りました。また、広島は天候がよかつたから広島
 にするなんてかおいろすぎると思いました。火
 は原火暴の温度は表面で7000℃という太陽より
 熱いのが近くにあるなんて本当にびっくりしま
 した。また地場でも3000℃もう外にいた人は
 死んで死んでもおかしくないと思ひました。
 最後に池田義三さんが原子爆弾資料館で火傷
 を再原している人形を見て
 言った「キレイすぎる」これは、池田義三さんが



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

本日、特別授業を受講させて頂き、原爆のおそろしさを、自分は本当に知らなかつたといふ事がよく分かりました。また、投下された日、義三様がごらんになった景色は、ひどく、おそろしく、目をそむけたくなるようなごうけいだったのだなという事が、ひしひしと伝わって来ました。また、原爆資料館の人形^{マドレーヌ}を、ごらんになったさいに、「二人は、^{おそろしく}とボソッとおっしゃっておられたのですか、これをお聞きし、自分はその人形を見ただけでもふるえがとまらないは、おなのひ、義三さまは言葉に現わせないほどのごうけいごうけいを、ごらんになったのだなと思ひました。それから、原爆先生が、とても分かりやすく、かいせつをして下さったので、原爆について知れあかなければならない情報が、豆貝にすうてはいってきて、原爆先生のかいせつは、とても分かりやすいと思ひました。二枚らを通し、8月6日の出来事は、景色が

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

目をそむけてはいけないうこの日本に、あつた事だ」といふ事が深く分かりました。また、「日本人」として、豆貝の片おみに原爆を必お入るおかなければいけないうと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

実際のできごとを生で聞けて、分かったことがとても多かったです。また、原爆は、罪のない人々をたくさん殺していたので、二度と原爆が使われてほしくないと思いました。また、たくさん建物があつた広島だったのに、それらが「いっしょん」の中で消える(溶ける)ことがとてもおそろしいな、と思いました。また、地上の熱(温度)が約3000℃以上で、熱いどころではないな、と思いました。また、池田義三さんは、現状に悲しみ、苦しみながらも、任務を続ける精神力がすごいなと思いました。また、熱が3000℃にもあるのに、衝撃波もあるので、生き残った人は、とてもすごいと思いました。しかし、生き残ったのに、川や水に飛びこみ、「助かる!」と思っていた人が、水が熱く、水で亡くなった人がかわいそうだな、と思いました。なぜ、戦争するんだらうと思ひ、二度と戦争が起きてほしくないな、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

まず義三さんが広島でトラックを待っているところから原子爆弾が落とされたとき、トラックがおぼろげなことでドラム缶があたるとの二つがあつたからこそ軽傷で済んだのだと思ひました。アメリカ軍が京都ではなく広島に落としたのはどちらにしろ多くの人の命がなくなると分かつていたと思うので、他の方法がなかったのかと思ひました。原爆の被害を受けた人はみんな、皮がずれ落ちたり、指などで顔を真赤にして、助けを求めているのを想像すると心がとても苦しかったです。必死に生きようとして川に飛びこむ人々のけい命さが伝わってきました。原爆のいかりはガリ老若く、家に入っている人も、焼きつくされ、川の水も蒸発してしまう3000℃の熱の熱さがよく理解できました。原爆は音より先に衝撃波を感じるため、いまより来て音がたよりにならないと思ひました。助かろうと生き残った人も、放射線でおそろしい原爆の苦しむ人も今もいることが分かり、ものすごく多くの人が被害をたうされると思ひました。すべてが燃やされるため、町は火災でなく、お人々がかうやく姿が目にはうかびました。今もある原爆ドームと原爆資料館は今後残して後世に戦争の悲しさを伝えていってもらいたいと思ひました。池田義三さんは自分か思ひてより、悲しいことが起きていたと原爆資料館で知り、原爆言ひ念ひの前で苦痛を味わせた人に折り入って話をうかがうからそこに立っていた気がしました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/16

原爆が投下されたことで広島市の人口の40%、14万人の命が消えたと思うとやはりこの出来事は悲事なことであったのだと改めて感じられた。トラックに乗っているときに死体の処理をするときの様子がどれだけ苦しく、どれだけ恐ろしく、生々しいものなのか分かる表現ばかり使われていてゾッとしてしまった。川の水が蒸発したり、防火用水の桶の中に人の死体がたくさんあったりということから3000℃や7000℃が熱いのか分かった。きのこ雲は爆発したからできたものだと思っていたが、空気が一瞬のうちに熱くなり上昇気流が起りげんかいの高さまでいったため、平らできのこのような雲になったのだと分かった。また、説明を聞いて7000℃の少年というのは原子爆弾(リトルボーイ)のことを言っているのだということが分かった。これから生きていく中で、この出来事は忘れずにいたいと思う。これを聞いて私は原爆というものがなっていてほしいと

思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この授業前から原爆の恐ろしさを少しだけ知っていました。しかし、ぼくの少しはこの授業のほんの一部にしかすぎませんでした。例えば、「皮膚がはかづれおちた」とか「女性がけがした足が腫でしまっている」とか先生の声からもよくわかったのです。そして最も恐かったのが、原爆をあびた人が一瞬で消えてかげになってしまうことです。どれも想像するのは不気味でした。最も不気味だったのが、これでした。また、ぼくが間違っていたことがありました。それは原爆で直接亡くなってしまう人しかいないと思っていたことです。しかし、原爆による後遺症でせくなる人がいることです。このことから、すごく辛い経験している人がとても多いことがよくわかりました。それを今の自分が理解し、ここでこれからの生涯を歩んでいきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

名前は裏面に記入してください

2/16

アメリカは京都を攻めようとしたけど、文化財がたくさんあるので、直径5kmを超える平野であるかつ空襲がなかった広島、小倉と長崎に決まったことが分かりました。アメリカ側も考えて攻めているんだなと思いました。そして、ラジオゾンテで原爆が投下されました。原爆は時速300km以上のスピードでとんで、太陽よりも1000℃高い7000℃で広島と長崎に落ちていたことが分かりました。投下された原爆で、3000℃の空気が周に広がって熱さで人が亡くなったり、負傷したりして、人の姿をしていなくて、建てる物も鉄だけが残っていて、川もほとんどが、氾から氾でいて、これらを文章や絵で表せないほどのひどさだったことが伝ってきます。くもか上にあかていくけど、それ以上にあからなくなて横に広がることが分かりました。投下された原爆の重さは、4tもあったことにおどろきました。授業で、音を入れましたか、とてもリアルで、まるで原爆が落とされたことを目にしている気がしました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の話を聞いて、教科書にのっている話とは少しちがって、もっとくわしい話をしてくださったので、分かりやすかったです。

実際に原子爆弾の音も聞いてみて、すごいびっくりしました。飛行機の音もあの時代は、たくさん鳴っていたんだと思うと、少しこわくなりました。

原爆をおとす候補があつたことを知りませんでした。私は、始めから広島と長崎に決まっていると思つていて、原爆先生の話を聞いた時は、アメリカが天候やせん領した後のことも考えていたことにおどろきました。なぜ東京におとさなかつたのだらうと不思議に思つていましたが、資料に空襲がなかつたことが条件と書かれていて、なぜかどけました。

人口の40%が原爆で亡くなつてしまつたんだなと悲しくなりました。「やさしすぎる」と言つていた時、私は今ある資料より、実際はもっと悲しかったんだなと思つていました。

原爆先生の話を聞いて、もっと平和について考えないと

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

いけないなと思つていました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆の話は「一つの花」や「ヒロシマのうた」などで知っていた戦争の怖さ、おそろしさも授業で習っていたけれどそれ以上に今回の話がリアルで思っていた戦争よりも更に怖いことが分かりました。

たとえば原爆は、いっしんで爆発して約4km先まで全てが焼かれたり太陽よりも1000°高い7000°の個体が時速300kmで落ちてきたり当時広島に住んでいた人は毎日おびえながら生活をしてたと思うと、とてもむさんでかわいそうだと思いました。

原爆先生が言っていたように戦争は何十年も前に終わったことだけれど原爆病で苦しんでいる人はいるから日本人として知っておかなければならない悲しい事実ということが分かりました。

今まではただ教科書の文字を読んでいたけれど今日は原爆先生が「シューーン！」と大きな声で言ったのが、ものすごく迫力が伝わってきて、とてもびっくりしました。

本当の原爆はこの何千倍も怖いと思いました。戦争の怖さを新しく知ることができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆が落とされたほぼ真下にいた人はたぶん苦しむ前に死んでしまうと思いますが、少しはなれたところにいた人たちは、すぐには死ねずに苦しみながら死んでいくことが、わいし、いやなところだと思いました。私は広島に行き、原爆のしりょう館のしりょうを見ました。あのしりょうでもとてもなまなましくてしょうげき的だったのに、あれでもきれいすぎると知ってさらにおどろきました。原爆を間近で経験した人にしては分からない当時の様子は私には分かりませんが、経験者のお話でとても原爆がおそろしいものだということがとても伝わってきて、原爆はもう使ってはダメだと思いました。今も原爆のせいで苦しんでいる人がいることが分かりました。悲々な原爆の話はこれからも伝えていかなければいけない大事なことだと思いました。一番印象に残っているのは、はながただれたりという表現などのなまなましいことです。教科書などはそんなことは書かれてないのであまり印象に残っていませんでした。ものこのような悲々なことがなく、ずと平和なままがいいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆は、はじめ、熱でたくさんの方が亡くなっていると思っていたが、それ以外にも、衝撃波や放射線などで亡くなっていたことを知りました。熱は太陽の表面温度をこえ、 7000°C になり、中々音は100万 $^{\circ}\text{C}$ になる直径200mの原爆が広島に落ちてしまったのは、とても悲しいということを改めて分かりました。イチョウホールで聞いた大きな音よりもはるか上の音を聞いたら、体は熱いし、耳もおさえなければならぬと思いました。爆バ地では真空地帯となり息もできない場所となり、熱も残るし、生きることが苦くなることを理解しました。池田さんのような広島市に行き、原爆の恐ろしさを目(ま)の当たりにしたけれど、しっかり生活をしている広島県民が「すごい」と思いました。今、平和な暮らしができるのは日本が原爆を投下され、戦争を二度としないと決断したからだと思います。原爆は絶対に保持して

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

はいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆はその瞬間もその後、何年も被害がおよんでしまうところがとてもつらいなと思いました。原爆が爆発したときに、その球体の外側ですら7000℃になってしまうことにびっくりしました。太陽よりも熱いという事は、夏で太陽がはるか遠くにあっても暑くて汗が出てくるのに600m上に太陽以上の熱さのものがあたら、暑い』と思う前に自分の体が全て焼け焦げて、灰になってしまうという事実にとてこわくなりました。広島市人口の40%がなくなってしまうということにとてもおどろきました。ほぼ半分の確率の中で自分が入。でもおかしくないという死と、となり合あせの状況うがとてこわいです。

今、私たちがお話を聞いて想像をしていることよりも実際は何倍もおそろしく、体験していない私たちでは想像もできないことが起きていたのだと思います。体験した方がその当時のお話をするだけで泣いてしまい、とてもつらくなるというほどに苦しくつらいことだったのだと実感しました。私たちがこれからもず、と戦争の起きない世の中にしていくようにします。原爆は5人に2人がなくなってしまうほどおそろしいものだあらためて分かりました。その場で被害にあた方やその被害にあた方を見た方はとてもつらく悲しかったと思います。絶対に忘れてはいけな、日本の歴史のーつだとあらためて思いました。